

令和2年度福岡県中学校総合体育大会

第71回男子第35回女子福岡県中学校駅伝競走大会開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン

(1) 参加学校(チーム)の顧問(監督)の皆様へのご協力をお願い。

新型コロナウイルス感染症が終息または、ワクチン等が開発されるまでは当分の間、以下の留意点の遵守にご協力をお願いします。

①参加選手の体調の把握をお願いします。少しでも体調の悪い選手は競技会への出場を辞退させてください。福岡県中体連より出されている、体調記録表・同意書の作成と確認をしてください。また、大会当日の受付時には、参加者の体調確認表全員分(県中体連)を提出してください。体調不良の選手が出た場合は、氏名を主催者にお知らせください。

②本大会は、福岡県、各地区代表の中学校が参加する大会です。したがって、皆様の協力がなければ密集を避けることができません。大会が定める感染症対策を厳守のもと参加してください。なお、「無観客」とは、諏訪公園(駅伝大会周回コース)敷地内にいる人が、「大会役員」「施設関係者」「顧問及び引率責任者」「主催者が認めた陸協関係者」「主催者が認めた報道関係者」「選手」「補助員」のことを示します。応援、付き添いのためだけの者は来場することがないようにしてください。当然ながら、練習会場や待機場所なども同様とします。競技会へ出場せず、補助員で参加する場合は例外とします。ご協力をお願いします。また、選手についても、出場日に出場する選手のみ来場させてください。付添については、選手登録した生徒の中からお願いします。

③保護者、家族、卒業生等の方の会場への来場はお控えいただくように連絡してください。選手の送迎についてはこの限りではありません。

④選手控所については、主催者で間隔をあけるため禁止場所を設定しますので(赤テープ等で表示)、それ以外の場所で設置をお願いします。

⑤選手控所で休憩する場合は、身体的距離を確保するよう指導をお願いします。また、大声で会話等することのないよう指導をお願いします。

⑥ごみは各自で、各学校で必ず持ち帰ってください。

⑦競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告し、保健所、医師会、診療所等に相談後、チームの代表者に連絡し、チームの代表者が必ず大会総務(大牟田市立田隈中学校中学校:三枝)に報告してください。

(2) 参加者が競技を行う際の留意点

1) 基本的注意事項

参加学校(チーム)の顧問(監督)の皆様から競技会の参加者に対し、以下の留意点や遵守すべき内容を周知・徹底を指導してください。

①招集所では他の選手とは身体的距離を確保しマスクを着用して招集を受ける。

②唾や痰を吐く行為は行わない。

③タオルの共用はしない。タオルは各自で持参する。

④控所では、周囲の人と身体的距離を確保する。大声で会話をしない。

⑤試合中などに選手が倒れた場合は直接接触れることをせず、医務室や大会本部へ連絡する。ただし、緊急を要する場合は、その限りではない。

2) 競技中

- ①レース中にマスクを着ける必要はないが、招集中・移動中・待機中は着用する。マスク着用による熱中症にも注意をする。
- ②レース終了後、手洗い・洗顔を徹底する。各学校で消毒液等を準備してください。

3) ウォーミングアップ会場の配慮事項

- ①身体的距離の確保の工夫を行う。
- ②競技者自身のみでウォーミングアップを行う。(付き添いは付かない)
- ③ウォーミングアップ会場での観戦を禁止する。

(3) その他留意事項

1) 体調の確認

学校(チーム)で参加する場合は、選手の体調管理のため、顧問(監督)の方が以下の書面を作成し持参する。学校受付時に提出する。

【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調確認表(県中体連ホームページより)

- ①氏名、学年、学校名
- ②大会当日の体温
- ③大会当日の以下の事項の有無
 - ア 平熱を超える発熱
 - イ 咳、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ウ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - エ 嗅覚や味覚の異常
 - オ 体が重く感じる、疲れやすい
 - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

2) マスク等の準備

学校(チーム)の競技会参加者がマスクを準備しているか確認する。参加者が、運動・スポーツを行っていない間、特に会話するときには、マスクの着用を指示する。

3) 競技会の参加前後の留意点

競技会に参加する学校(チーム)は、競技会前後のミーティングなどで3つの密を避ける。会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮する。

4) 手洗いの実施

競技会の間に手洗いをこまめに行うよう指導してください。

- ①手洗いは、30秒以上行う。石鹸は競技場にも準備するが、できるだけ各自で持参する。
- ②手洗い後、手をふくために各自でタオル等を準備する。タオル等を共用しない。
- ③手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。会場にも準備するが、できるだけ各自で持参する。

5) 更衣室、休憩、待機スペースでの行動について

更衣室は利用できない。休憩、待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。そのため以下に 配慮して使用するよう指導してください。

- ①広さにゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。
- ②ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度にスペースに入らないよう指示する。

6) 洗面所

洗面所(トイレ)も感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。そのため以下に配慮して使用するよう指導してください。

- ①トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー)を使用した場合は、こまめに手洗いをする。
- ②トイレの便器の蓋を閉めて汚物を流すよう指示する。
- ③手洗いは、30秒以上行うよう指示をする。
- ④手洗い後、手をふくために個人でタオル等を準備するよう指示をする。

7) 観客の管理

- ①各学校(チーム)の顧問(監督)の方から、保護者、家族、選手以外の友人などの応援者は、諏訪公園周回コースへの来場を自粛してもらうよう伝達する。今回の大会については、無観客で実施する。
- ②集団での応援は禁止、また応援者同士の距離を2mほど開ける。大声をだして応援しない。また、タイム読みも禁止する。手拍子での応援は可。

8) ごみの廃棄

各チームが出したごみは持ち帰る。また、以下に配慮して回収を行う。

- ①鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れ密閉する。
- ②ごみを回収する人は、手袋やマスクを着用する。回収が終わったら必ず石鹸と流水で手を洗う。

[施設における配慮事項]

(1) 施設入場時の配慮事項

- ①手指消毒剤の準備。(競技会主催者)
- ②身体的距離確保の呼びかけ。

(2) 施設利用上の配慮事項

- ①ウォーミングアップ場や招集所などのスペースの確保。(身体的距離を確保)
- ②直接の接触回避の工夫。
- ③多くの者が接触する可能性がある個所の清掃・消毒を通常よりも多く行う。
- ④トイレの清潔化の徹底。(便座の蓋をしてから流す)
- ⑤ゴミ箱を撤去し、ゴミは各自持ち帰るように事前に周知する。また、アナウンスも行う。
- ⑥発熱者が出た場合の隔離用の場所を確保する。

【参考】

○各校顧問の動き

①大会前

- ・【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調記録表・同意書(県中体連より)の作成と確認

②大会当日

- ・本部テントで、学校受付を行う。

【当日】新型コロナウイルス感染症についての体調確認表(県中体連より)を提出し、体調不良者がいないことを報告する。

審判及び役員については、受付時に検温等を行う。

- ・体調不良の選手が出た場合は、氏名を大会本部へ報告する。

③競技会後

- ・競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告し、保健所、医師会、診療所等に相談後、チームの代表者に連絡し、チームの代表者が必ず大会総務(大牟田市立田隈中学校中学校:三枝)に報告する。

○選手などの動き

①競技会前

- ・【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調記録表(県中体連より)・同意書を作成し学校で保管する。

②競技会当日

- ・「競技会参加校(チーム)の顧問(監督)の皆様へ」が守られているか、確認を行いながら競技会に参加する。

③競技会後

- ・競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告し、保健所、医師会、診療所等に相談する。

○待機場所など

- ・身体的距離を確保する。